

伊勢ヶ濱親方による土俵の寄附について

公益財団法人日本相撲協会所属、伊勢ヶ濱部屋の伊勢ヶ濱親方（元横綱 照ノ富士）より、「国技である相撲を未来の子どもたちにも伝えていきたい、相撲をする子どもたちがもっと増えてほしい。」との思いから、浜松市に土俵を寄附したいとの申し出がありました。

遠州灘海浜公園内にある相撲場は整備後 45 年が経過し、老朽化に伴う改修が必要な状態であるため、可美公園内への移転整備を決定したことから、この申し出をお受けすることとしました。

1 相撲場の整備

- ・市は相撲場の造成及び上屋の整備を行い、伊勢ヶ濱親方から寄附いただく土俵を活用
- ・既存の遠州灘海浜公園内の相撲場は老朽化に伴い廃止

2 整備地

- ・公園名 可美公園（浜松市中央区増楽町 920 番地の 1）
- ・位置図



3 スケジュール

- ・令和8年5月から10月 地質調査・実施設計業務
 - ・令和9年1月から 整備工事
- ※着工に併せ目録の贈呈、竣工時にお披露目式の開催を予定

4 伊勢ヶ濱親方からのメッセージ

国技である相撲を未来の子どもたちにも伝えていきたい、相撲をする子どもがもっと増えて欲しいという思いから、相撲ができる場所を全国に広げていきたいと考えています。

浜松市に相撲クラブを立ち上げる計画も進めていますので、今回の寄附により、相撲をやったことがない子どもたちが相撲をするきっかけになってくれることを願っています。

